

## 地図デザイン商品の専門店「Map Design GALLERY」

12月7日(土) 北九州市に誕生！

古地図レプリカや和雑貨など、ここでしか手に入らない限定商品も！

株式会社ゼンリン(本社:福岡県北九州市、代表取締役社長:高山善司、以下ゼンリン)は、2019年12月7日(土)、「地図に親しむ空間を提供する」というコンセプトのもと、地図デザイン商品を販売する専門店「Map Design GALLERY」(マップデザインギャラリー)をリバーウォーク北九州 1F(北九州市小倉北区室町 1-1-1)にオープンします。ゼンリンによる地図デザイン商品専門店の開業は、今回が初めてです。

### ■「Map Design GALLERY」概要

ゼンリンは、地図の機能的価値を追求するとともに、地図をデザインとして捉え、感性的価値を訴求するマップデザイン事業を推進しています。

今回新たにオープンする「Map Design GALLERY」は、新たな自社チャネル開発の取り組みの一環で、地図デザインの魅力を世の中に発信する役割も担っています。

地図をデザインしたステーションナリー・雑貨・アパレル商品など、ここでしか入手できない商品も取り扱う予定です。

Map  
Design  
GALLERY



▲Map Design GALLERY イメージ

### ・地図デザイン商品の一例



▲(左下)クリアファイル、(奥)トートバッグ、  
(右下)マグカップ・ノート

### ・西洋製の古地図の展示

2020年4月の「ゼンリンミュージアム<sup>(※)</sup>」のオープンに先立ち、店舗内に16～19世紀に作られた西洋製の日本地図などを展示し、レプリカの販売も行います。

※ゼンリンミュージアムとは、西洋製の日本地図や伊能図をはじめとする地図の変遷を、歴史とともに紹介する博物館です。

【参考】2019年10月18日ニュースリリース

<https://www.zenrin.co.jp/information/public/191018.html>

ゼンリンは、地図の利用環境が変わり続ける中でこれからも新たな挑戦を続け、地図デザインに親しむ「Map Design GALLERY」を通して、文化的で豊かな人びとの暮らしに貢献していきます。

### メディア向け内覧会のお知らせ

12月5日(木)11:00～15:00にメディアの皆様に向けた内覧会を開催します。

内覧会にお越しいただける場合は、大変お手数ですが、以下URLよりお問い合わせください。

<https://www.m-nws.zenrin.co.jp/fm/pub/contact/press>

## ■「Map Design GALLERY」施設概要

オープン日 : 2019年12月7日(土)

所在地 : 福岡県北九州市小倉北区室町 1-1-1 リバーウォーク北九州 1F

営業時間 : 10時～21時 年中無休

URL : <https://www.zenrin.co.jp/company/summary/mapdesigngallery/index.html>

## ■「Map Design GALLERY」ロゴに込めた思い

# Map Design GALLERY

「Map Design GALLERY」のコンセプトである「地図デザインに親しむ空間」として、地図デザインと人々(空間)をつなぐデザイン。また、縦配列にすることで、見やすさ、読みやすさ、覚えやすさを強調し、躍動感を演出。

## ■マップデザイン事業

ゼンリンは、2018年4月にマップデザイン事業を立ち上げ、地図を新たなコンセプトで捉え「デザイン」として感性的価値を訴求するなど、常識にとらわれることなく、可能性を追求し続けています。

中長期経営計画「ZENRIN GROWTH PLAN 2025」にもあるように、マップデザイン事業は「地図デザイン商品群でコンシューマー市場を創造」することを基本方針に掲げ、市場・売上の拡大を目指します。

## 【参考】地図ステーションナリー「mati mati」

ゼンリンの代表的な地図デザイン商品のひとつである「mati mati」シリーズは、ゼンリンの実際の地図データをデザインに活用したクリアファイル、マスキングテープ、ノートパッド、ブックマークの4種類のステーションナリーを展開しています。

「mati mati」には、街の様々(=まちまち)な特徴をテーマにしたデザインが盛り込まれています。

これまでの地図の「機能的価値」だけではなく、「街の特徴」「地図そのもののデザイン」などに着目した商品を企画すべく、20～30代の女性社員によるプロジェクトチームを立ち上げ、2016年1月15日に商品化しました。



▲「mati mati」シリーズ 京都